

豊田事業所の労働安全衛生について

豊田事業所では、JESCO と TKS が一体となって EMS（環境マネジメントシステム）を推進しており、環境目標に「不休災害ゼロ達成」を設定し、その達成に向け日々努力しております。

その結果、本年 10 月末で豊田事業所の無災害継続時間は 150 万時間を超えており、JESCO と TKS それぞれの活動は有効であると考えております。

労働安全衛生の対策についてコンサルタントに聞いたところ、リスクアセスメントが重要であり、豊田労働基準監督署もリスクアセスメントを進めるべきと指導しているとのことです。

TKS では、年 2 回強化月間を定め、計画的にリスクアセスメント活動を行っております。

豊田事業所では、今後も引き続き現状の活動を続けていきたいと考えております。

プレス事業場における リスクアセスメントのすすめ方 中小規模事業場への導入を目指して

1 みんなの事業場でリスクアセスメントを始めてみませんか。

職場では多種多様な作業が行われており、その実態や特性を的確にとらえた安全衛生対策が、今、必要になってきています。労働災害防止のために事業者が講ずべき措置義務については、従前から労働安全衛生法により定められていますが、これらは罰則をもって守ることを強制されている最低の基準であり、これを守っているだけでは個々の事業場の安全衛生対策として万全ではありません。

それでは、具体的に何をしたら良いのか？ その答の一つがリスクアセスメントです。これは職場にある様々な危険の芽（リスク）を見つけ出し、それにより起こることが予測される労働災害の重大さからリスクの大きさを見積もり、大きいものから順に対策を講じていく手法です。

わが国におけるプレス機械による災害発生状況は、表 1 のとおり年間 1,000 人を超す人達が被災しており、平成 12 年からのプレス機械の稼働台数は減少傾向にありますが、災害の発生件数（被災者数）は平成 15 年から増加傾向に転じています。今こそ、リスクアセスメントを導入し、安心して働ける職場を作りましょう！平成 17 年 10 月、労働安全衛生法が改正され、機械等の危険性又は有害性等の調査（リスクアセスメント）の実施が努力義務化されました（平成 18 年 4 月 1 日施行）。

表 1 プレス機械による災害発生状況（被災者数 単位人 休業 4 日以上）

年	平成 12 年	平成 13 年	平成 14 年	平成 15 年	平成 16 年
被災者数	1,407	1,119	1,039	1,116	1,121
死亡者	3	3	4	0	3
稼働台数	261,349	254,230	244,821	233,988	231,311

死傷病報告（厚生労働省）及び動力プレス機械特定自主検査済標準用紙の発行数（中央労働災害防止協会）



厚生労働省・都道府県労働局
労働基準監督署